

環境会計

環境会計(2014年度)

2014年度の投資額は、空調機器の更新、建屋の断熱工事に加え、グローバル本社棟の新築により、2013年度比約2.4倍の増加となりました。費用額については、設備投資の減価償却分が増えたため、13%の増加となりました。経済効果については、クールビズ・ウォームビズ活動成果をより実態に合わせるため、基準年を2004年度から2012年度に変更したことにより46%(従来通り、2004年度比とした場合の経済効果は、約9%)減少しました。

●集計範囲：国内アンリツグループ

●エコ製品：2014年4月1日から2015年3月31日

[] 内の数値は、2013年度実績

環境保全コスト				効果		
大分類	中分類	投資額(百万円)	費用額(百万円)	経済効果(百万円)	物量削減効果	
事業エリア内コスト	公害防止コスト(リスク対策含む)	1.4 [3.30]	11.7 [22.0]	146.1 [149.4]		
	地球環境保全コスト	温暖化防止	49.6 [18.8]	30.0 [16.9]	21.4 [164.6]	369 (t-CO ₂) [3,764 (t-CO ₂)]
		資源循環コスト	資源循環/活用活動	5.2	80.0 [59.1]	0.0 [0.0]
	廃棄物処理費用			51.4 [48.3]	22.0 [27.0]	
上下流コスト	グリーン購入/調達コスト		18.0 [23.4]	59.9 [56.6] *1	1,707 (t-CO ₂) *1 [1,254 (t-CO ₂)]	
	環境配慮型製品設計		26.8 [20.2]			
	製品・容器包装などリサイクル、回収、処理		0.0 [0.0]			
管理活動コスト	環境教育/人財育成		20.0 [20.3]	0.0 [3.7]		
	EMS運用・維持、内部監査		53.2 [45.2]	0.0 [3.1]		
	環境負荷の監視測定コスト	0.0 [0.8]	19.3 [19.2]	0.0 [1.4]		
	環境保全対策組織の件費		10.7 [6.2]	0.0 [0.0]		
	緑化整備・維持		8.4 [9.3]	0.0 [0.0]		
社会活動コスト	地域・環境保全団体などへの支援		1.3 [1.2]	0.0 [0.0]		
	情報公開		10.3 [9.8]	0.0 [0.0]		
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発		0.1 [0.1]	0.4 [0.0]		
環境損傷対応コスト	環境損傷対応のためのコスト		0.0 [0.0]	0.0 [0.0]		
合計		56.2 [22.9]	341.2 [301.3]	249.4 [405.9] *2		
上下流コストを除いた合計				189.5 [349.3] *3		
前年度比		144.9%	13.2%	-45.8%		

*1 製品の使用時における環境負荷抑制効果(みなし効果)削減電力：2,994MWh [2,574MWh]

*2 みなし効果を含む

*3 みなし効果を除外

アンリツグループでは、温室効果ガス削減の取り組みの一環として、省エネ型の設備への更新を順次実施しています。特に2015年3月に竣工したグローバル本社棟は、断熱性能の高い建屋、高効率空調機、LED照明、太陽光発電システムなど、建屋全体が環境に配慮した設計になっており、温室効果ガス削減に大きな効果が期待されます。



グローバル本社棟 高効率空調機

【厚木地区：空調機器更新、建屋の断熱工事、グローバル本社棟竣工】

- 費用…42,432(万円)
- CO₂削減効果…1,326 (t - CO₂/年)

【東北地区：空調機器の更新】

- 費用…7,190 (万円)
- CO₂削減効果…78 (t - CO₂/年)